

「パト看板」3カ所に設置

水戸署が安全運転呼び掛け

交通事故を減らそうと、水戸署(小堀健一署長)と同地区安全協会(幡谷浩史会長)

は、水戸市大串町、同市三湯町、茨城町奥谷の国道沿いなど管内3カ所に、運

転手に注意を呼び掛ける「パト看板」を設置した。

看板は、いずれも太陽電池によるパトカーの赤色灯をイメージしたランプが装備され、夜間に点灯する。



設置されたパト看板＝水戸市大串町

高さ・幅ともに約1・8メートル。「事故多し スピード落せ」と書かれた型と見通せる型の2種類が取り付けられた。

このうち、水戸市役所常澄庁舎前に取り付けられた看板は、大洗町の玄関口近く。北関東道が東北道からつながったことや、ETCの休日割引制度が始まったことにより、大勢の観光客が訪れることが見込まれている。そのため、事故が発生しないようドライバーに安全運転を促すよう設置することとなった。同署では「今後も安全運転を呼び掛けていきたい」としている。